

甲武信ヶ岳 山行報告

【山城】 奥秩父

【コース】 毛木平～千曲川源流～甲武信ヶ岳～十文字峠～毛木平

【日程】 H30年5月25日（金）夜～5月27日（日）

【参加者】 CL室 昌美 SL村尾憲治 齋藤健志 山内英晴 鈴木憲二 清野淑子 鈴木愛子（記録）

【コースタイム】

○5月25日（金）

千葉 18：30⇒双葉 SA で村尾車と合流⇒平沢峠 23時過ぎ頃着 テントで仮眠

○5月26日（土）

平沢峠 4：30 発⇒毛木平の駐車場 5：30 発 登山開始⇒ナメ滝 7：20→千曲川信濃川水源地標 8：45 着
9：00 発 →奥秩父主脈縦走路→甲武信ヶ岳頂上 9：45 着 10：00 発→甲武信小屋 10：15→三宝山 11：08
→尻岩 12：00→武信白岩山をトラバースする→大山 13：23→十文字小屋着 14：05 14：30 発→毛木平の
駐車場 16：00 着⇒清里のコテージ泊

○5月27日（日）

清里のコテージ発 10：20⇒天女山の駐車場着 10：30→天女山頂上 10：45 着 11：15 発→
駐車場着 11：30⇒清里で、ほうとうを食べて中央道を走り帰葉。

【記録】

○5月26日（土） 天気 曇り時々晴れ

4時起床、テントを片付け、4時半に平沢峠を出発。車の中で朝食を済ませる。毛木平の駐車場着5時15分頃。すでに駐車場は満車。駐車場の端に2台止められた。予定では毛木平にテントを張り、仮眠の予定であったが、シャクナゲの花の季節なので、無理かも？ということで、双葉SAで合流した時に、平沢峠で仮眠に変更した。平沢峠に変更して良かった。

毛木平の登山口を5時半に出発。千曲川の西沢沿いを遡って甲武信ヶ岳に至るコースを登る。美しい新緑、ヘビイチゴに似ている白い小さな花の群落、タチツボスミレ、ミヤマカタバミ等々の可憐な花たちが私達を迎えてくれる。清い沢の水、色々な種類の苔、を見ながら気持ちよく歩を進める。

何度も小さい沢を渡り、ナメ滝を過ぎると、「千曲川信濃川水源地標」に着く。千曲川と信濃川は同じ川だが、新潟県側では信濃川と言うそうである。水源地には、コップが置いてあり水が飲めるようになっていた。冷たくて美味しい水であった。この水が沢を流れ、やがて日本で一番長い大河となる由、何かロマンを感じる味であった。



毛木平の駐車場の登山口にて さあ出発！



登山口より沢に向かう所

「千曲川信濃川水源地標」までは緩やかな坂の道であったが、そこを過ぎると、シラビソの森となり、急登が続いた。清野さんに花の名前や木の名前をいっぱい教えてもらった。シラビソとコマツガの違いは葉の裏に、縦に白い線が2本あるのがシラビソとのこと。シラビソの良い香りのする森の中を、急登にあえぎながらしばらく登ると、前方が開け、奥秩父主脈縦走路に出た。そして急なガレ場を登り、甲武信ヶ岳の頂上に9:45に着いた。頂上の手前の急登がきつかった。富士山がうっすらと見え、金峰山などの奥秩父の山々が見えた。



千曲川源流



千曲川の水源地（水が美味しい！）



千曲川の水源地にて



甲武信ヶ岳頂上にて

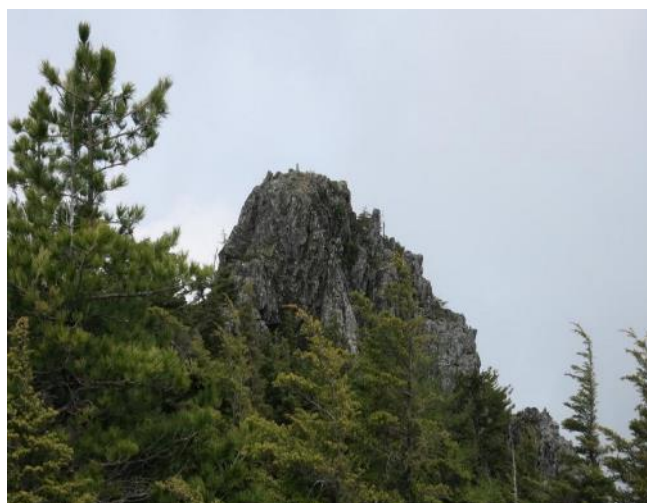
頂上で写真を撮ってくれた方で、十文字峠から来た人に、「十文字峠の石楠花の花が満開でとても綺麗だから、そちらを回って毛木平に帰ると良いですよ」と勧められる。みんなで話し合う。地図の時間だけで、あと5時間、休憩を入れたら、毛木平の駐車場着は15時か16時だがどうするか？

甲武信ヶ岳の頂上まで、地図の時間だけで3:55。私達は休憩をプラスして4:15で登ることができ、良いペースで登る事が出来た。誰もバテている人がいなくて元気である、みんな石楠花を見に行きたい、天気も晴れていくずれそうもない、ということで、十文字峠経由の周回コースで毛木平の駐車場まで帰ろうと決定する。予定では下山は往路と同じ道を歩く予定であったが、頂上で、上記の様な理由で周回コースに変更した。

そして10時頃、頂上を後にする。甲武信小屋でトイレ休憩して、更に歩を進め、三宝山頂上に着く。周りは木々に囲まれ、展望はなかった。さらに歩を進め、尻岩に着く。丸みを帯びた二つの大きな岩がぴったりくっついていてユニークな巨岩であった。



ユニークな尻岩



武信白岩山（この山の上部の直下を通る）

さらに歩を進める。武信白岩山の頂上が前方に見えた。すごい岩峰で、そこを登るのかと思いきや、近くまで行くと、そこは「落石の危険がある為立ち入り禁止」の看板があり、登らなくて済んだことにほっとする。その岩峰(武信白岩山)の直下を通り、大山に向かう。大山の頂上とその先に、石楠花が綺麗に咲いていた。大山を過ぎ、しばらくして、鎖の設置してある急な岩場が4か所あった。ストックをリュックにしまい、鎖につかまりながらクライムダウンする。鎖がない所は3点支持で一歩一歩慎重に下りた。



十文字小屋の脇の石楠花



大山への稜線の石楠花

十文字小屋の手前が石楠花の大群落で、今が丁度満開でとても綺麗に咲いていた。山を歩いていて、丁度満開のタイミングにはなかなか出会えない。今日は本当についている。ラッキーである。十文字小屋でトイレ休憩と水分補給する。小屋で甘酒を飲む。コップ一杯100円で、体が温まり、美味しかった。

甘酒を飲み、元気を付け、毛木平の駐車場に向かい頑張ってシラビソの森の中を歩く。毛木平の駐車場着16時。休憩を入れて、今日の歩行時間10時間半。「私達頑張ったねえ。いいペースで歩けたねえ！」「満開の石楠花見られて良かったねえ！」「2日分歩いちゃったねえ！」等とお互いを誉めあいながら、今夜の宿の清里のコテージへ向かう。川上村のスーパーで夕食のお弁当と明日の朝食の食材を買う。

温泉に入り、みんなで山の話、これからの少子化対策について？等々に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごし、心地よい眠りに就いた。



天女山の山つつじ



天女山の頂上にて

○5月27日(日) 天気 晴れ

予定では湯村山をハイキングする予定であったが、昨日、10時間半歩いたので、今日は、朝ゆっくり起きて、歩行時間がほんの少しの天女山に行くことに変更する。

朝、ゆっくり起きて、朝食後、みんなでおしゃべりを楽しみ、10時20分頃、コテージを出発し、天女山の駐車場へ向かう。駐車場から天女山の頂上まで歩いて15分。新緑が美しい中、カッコウ、ホトトギスの鳴き声を聞きながら、ゆったりおしゃべりを楽しみながら歩く。山つつじのオレンジ色が美しい。白い花でコデマりに似ているのだがコデマリとも違う名前の分からない花が綺麗であった。マイズルソウ、タチツボスミレ、サラサドウダンツツジの花一つ一つがとても可愛い。

頂上では、甲斐駒ヶ岳、北岳、鳳凰三山、金峰山、茅ヶ岳等々の山が見え、しばし眺望を楽しむ。そして往路を、またゆったりとおしゃべりを楽しみながら下る。駐車場着11:30。

清里でほうとうを食べて中央道を走り帰葉。

○今回の山行を終えて

美しい新緑、清い沢の水の流れを見ながら歩いたり、沢を渡ったり、森の中の爽やかな空気、ツマトリソウ、タカネスミレ、ミヤマカタバミ、タチツボスミレ、山つつじ、マイズルソウ、サラサドウダンツツジ、満開の石楠花の群落等々の高山植物に会えた事、鎖が設置されていてスリリングな岩場があったり、変化に富んだコースを、今回ご一緒した皆さんと休憩を入れて10時間半歩けた事が、とても嬉しく、幸せで、充実感一杯の山行でした。ご一緒した皆さん、お世話になり有難うございました。

ちば山の皆さんへ

私達の歩いた千曲川源流を遡って甲武信岳を目指し、それから十文字峠経由の周回コースは、本当に新緑がとても美しく、沢の清い水を眺めながら歩くことが素敵で、今頃のハイキングとしてお勧めです。私は、こんなに素敵なコースとは知らず、(今回のコース、初めて歩きました) 室さんからお誘い頂き、参加して本当に良かったと思っています。大感動の山旅でした。